

CSRへの取り組み

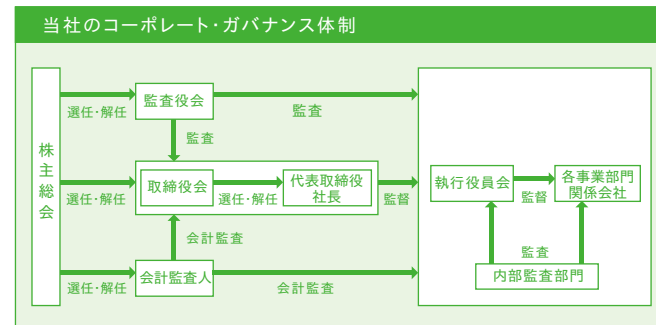
社会の持続的発展を支えるために企業が
取り組むべき活動として、さらに重要性を増すCSR活動。
当社はグループを挙げて、CSR活動に取り組んでいます。

取り組み体制

昨年4月に、CSR活動を専任とする「CSR推進室」を設置。12月には全社的なCSR活動の基本方針や重要事項を審議するために、社長を委員長とし、取締役・監査役で構成された「CSR委員会」を発足させ、全社的なリスク管理体制の整備などに取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

当社は経営の透明性を確保するため、独自の執行役員制度及び内部監査制度を構築しています。業務執行上の重要事項については執行役員と取締役及び監査役が出席する執行役員会で審議されます。監査役会は監査役3名のうち2名を社外監査役としています。社内には内部監査部門が設置され、組織の運営状況を法令及び組織職掌基準などの社内基準に基づいて審査をおこない、評価や改善指導をおこなっています。



規範の制定・遵守

当社は社員が行動する際に守るべき規範として「カシオ創造憲章」及び「カシオ行動指針」を制定しています。「カシオ創造憲章」を浸透させるため、二週間に一度、社内Webマガジンを発行。経営トップ自らが社内に向けてメッセージを発信し、また社員からも取り組みの報告や感想のフィードバックなどがなされています。さらに、法律の遵守・人権の尊重・公私の分別など日常活動の中でとるべき行動を定めた「倫理行動規範」を制定しています。

個人情報保護

個人情報漏洩防止のため、当社は昨年6月に「個人情報保護プロジェクト」を設置。各部門の持つ個人情報の実態を調査し、マニュアルの作成・従業員教育などをおこない、漏洩を防ぐ管理体制を構築した上で、3月に「プライバシーマーク」の取得を申請しました。現在、名前・メールアドレスなどの個人情報の取得は必要最低限に制限され、取得する際はプロジェクトへの届け出と、セキュリティ上安全な場所への保管が義務付けられています。また社外に個人情報を委託する業務がある場合は漏洩防止に関する契約を交わすなどの予防策を講じることが定められています。

環境保護活動

当グループでは「カシオ環境憲章」と「環境基本方針」を定め、具体的なテーマと施策を「カシオ環境ボランティアプラン」として策定。数値目標と実行期限を明確化した環境行動目標「クリーン&グリーン21」を制定し、グループ全体の行動計画として推進しています。また代表的商品のひとつである「G-SHOCK」「Baby-G」においては、イルカ・クジラ研究機関への協賛モデル、アマゾンの熱帯林保護活動への協賛モデルを発売し、売上金の一部をNGO（非政府組織）に寄付しています。



▲ アマゾン熱帯林保護活動協賛モデル

社会貢献活動

事業外の社会貢献活動としては「カシオ科学振興財団」が年に1回、萌芽的な科学研究に対して資金助成をおこなっています。また各事業所においては、工場見学や企業訪問の受け入れ、学校の先生方の民間研修派遣への協力、防災協力、献血活動、地域緑化活動や設備の寄付などを通じて、地域社会との対話を図っています。



高知県・土佐くろしお鉄道 ごめん・なはり線後免町駅(愛称「ありがとう駅」)に、当社と高知カシオ(株)が寄贈した縦1.5m、横2mの電波大時計

CSR報告書の発行

CSRへの取り組みの開示については、昨年7月に、従来の「環境報告書」に「社会性」についての内容を加えた「環境経営報告書」を発行。今年は、さらに「経済性」を加え、三つの側面からCSRへの取り組みを報告する「CSR報告書」を発行いたします。